



横浜市立田奈小学校

平成 30 年 6 月 1 日

学校だより 6月号

校長 二瓶 光代
TEL 045-981-0009



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tana>

二枚の折り紙

校長 二瓶 光代

それは、給食に「ベ이스ターズ青星寮カレー」が出た日のことでした。「ベ이스ターズ青星寮カレー」とは、横浜 DeNA ベ이스ターズの若手選手寮「青星寮」で選手が実際に食べているカレーの作り方を給食用にアレンジしたさわやかな香りのカレーのことです。子ども達の食べている様子を見ようと、校長室を出ると、一階の隅っこからちょこんと顔だけ出し廊下の様子をうかがっている子を見つけました。具合が悪いけれど、保健室に行こうか迷っているように見えました。「どうした？具合悪い？」と尋ねると答えは聞き取れませんでした。保健室に来たのではないことは分かりました。その子は、しっかりと折り紙を二枚持っていたからです。茶色と紫のしわひとつないきれいな折り紙でした。もう一度尋ねると、「サインもらいに来たの。」という答えが返ってきました。「サイン」と聞いてその子がここに来たわけ、そしてなぜ折り紙を持っているのか分かりました。この日、お昼の放送では、カレーを紹介する筒香選手の音声流されました。その放送を聞いて、その子は筒香選手が学校に来ていると思い、サインをもらいたくて一階に下りてきたのです。「この日同じ献立の学校は何十校もあるのだから、選手が学校に来れるはずがない。」というのは大人だからできる判断です。私は、「その子の思いを一笑に付すような答え方をしてはいけない。」と思いました。一階には校内放送が流れないので、選手の話の踏まえた答えができないもどかしさを感じながら私は、

「選手は、今日は来れなかったんだ。今頃ご飯を食べ終わって練習を始めるころかもしれないよ。」と、答えました。

その子はきっと、野球が大好きな子なのでしょう。自分の教室からわざわざ遠い方の階段を選んでいました。それは、放送室に続く階段です。自分の教室からまず放送室に向かったのでしょう。そして放送室に選手がいないことが分かると、職員玄関を目指したのだと思います。折り目が見つからないように工夫して、折り紙を持って。二枚のうち一枚は、友達か家族の分のサインと考えていたのかもしれませんが。その子の優しい心が見えました。そんなことを考えながら、教室に戻る後姿を見送りました。

子どものひたむきな思いは、表情・言葉・態度などに表れています。大人がそれに気づき、受け止め、返すことの大切さを思ったひと時でした。



【地域の方が苗の温室を作って下さり、田んぼに水も引いてくれました。】



【田奈のアオサギ】